

全国中小企業動向調査結果

(2020年4-6月期実績、7-9月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化し、極めて厳しい状況にある

(前回)新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に下押しされ、厳しい状況になってきている

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲73.7となった。
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲75.1となった。
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲61.5となった。
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲73.7(-29.3)	▲75.1(-30.3)	▲61.5(-34.0)	▲54.3(-19.6)	15.0(+28.2)

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化し、極めて厳しい状況にある

(前回)新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に下押しされ、厳しい状況になってきている

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲58.7となった。
来期以降はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲59.7となった。
来期以降はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲50.0となった。
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
▲58.7(-34.3)	▲59.7(-38.0)	▲50.0(-29.9)	▲20.2(-15.0)	13.7(+6.1)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:星田、立澤)

中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:藤原、藤井)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

目次

調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

【小企業編】

概況・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
調査の実施要領・・・・・・・・ 4
業況判断・・・・・・・・・・・・ 5
売上・・・・・・・・・・・・・・ 10
採算・・・・・・・・・・・・・・ 11
資金繰り、借入・・・・・・・・ 12
経営上の問題点・・・・・・・・ 13
設備投資、価格動向・・・・ 14

【中小企業編】

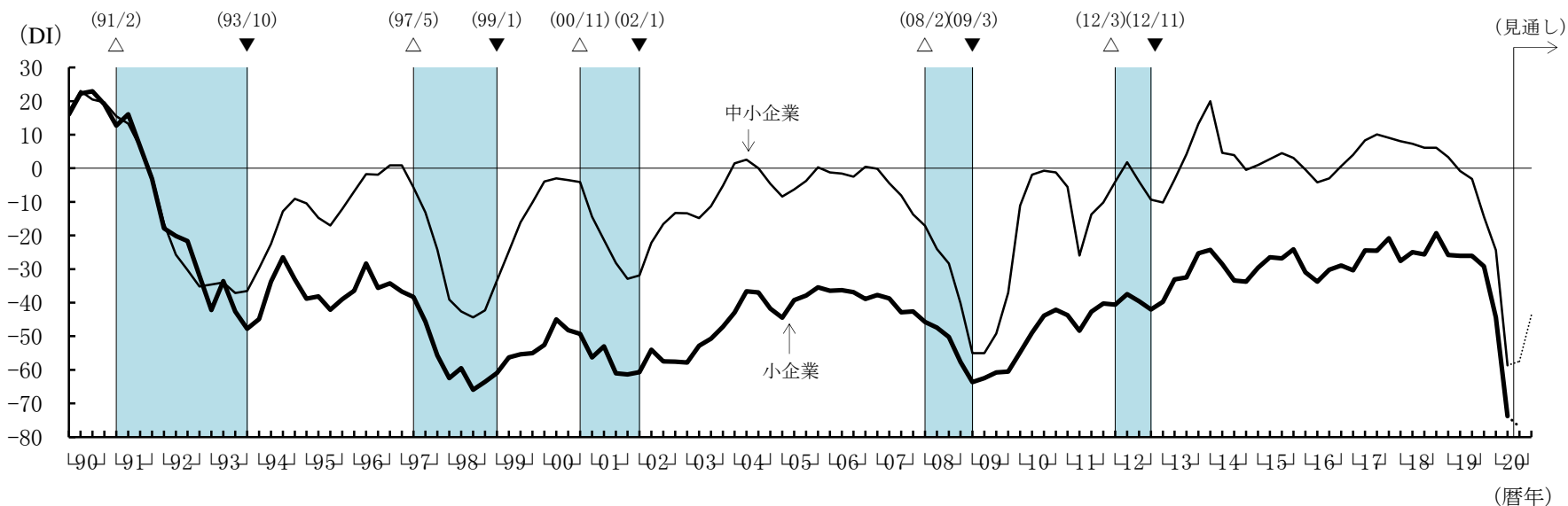
概況・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
調査の実施要領・・・・・・・・ 16
業況判断・・・・・・・・・・・・ 17
売上・・・・・・・・・・・・・・ 20
利益・・・・・・・・・・・・・・ 21
価格、金融関連・・・・・・・・ 22
雇用、設備・・・・・・・・・・・・ 23
経営上の問題点・・・・・・・・ 24

調査結果の概要

1 業況判断DIの推移

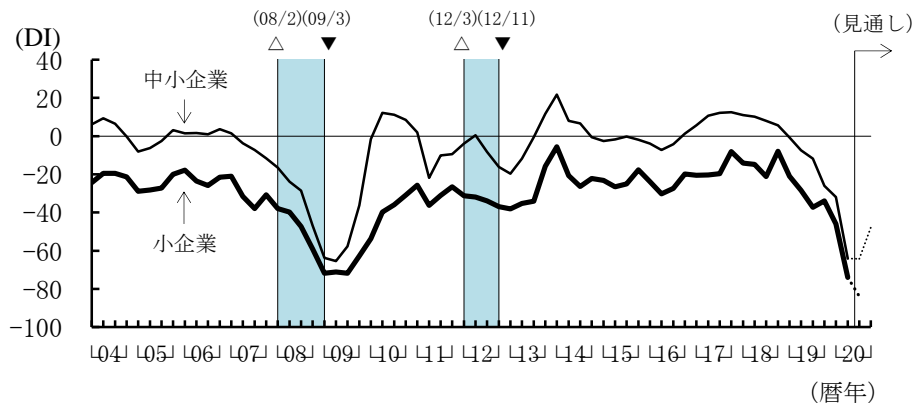
①全業種計

	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9 見通し	20.10-12 見通し
中小企業	7.3	6.1	6.1	3.3	▲0.8	▲3.2	▲14.4	▲24.4	▲58.7	▲57.5	▲43.7
小企業	▲24.9	▲25.6	▲19.3	▲25.8	▲26.0	▲26.0	▲29.2	▲44.4	▲73.7	▲77.0	-



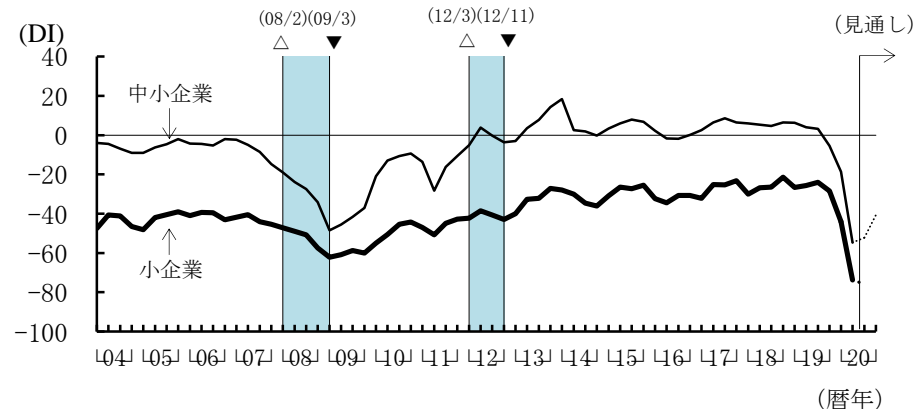
②製造業

	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9 見通し	20.10-12 見通し
中小企業	▲26.1	▲31.9	▲64.0	▲64.3	▲47.9
小企業	▲33.9	▲46.0	▲73.9	▲83.9	-



③非製造業

	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9 見通し	20.10-12 見通し
中小企業	▲5.5	▲18.7	▲54.6	▲52.2	▲40.6
小企業	▲28.4	▲44.1	▲73.7	▲75.8	-

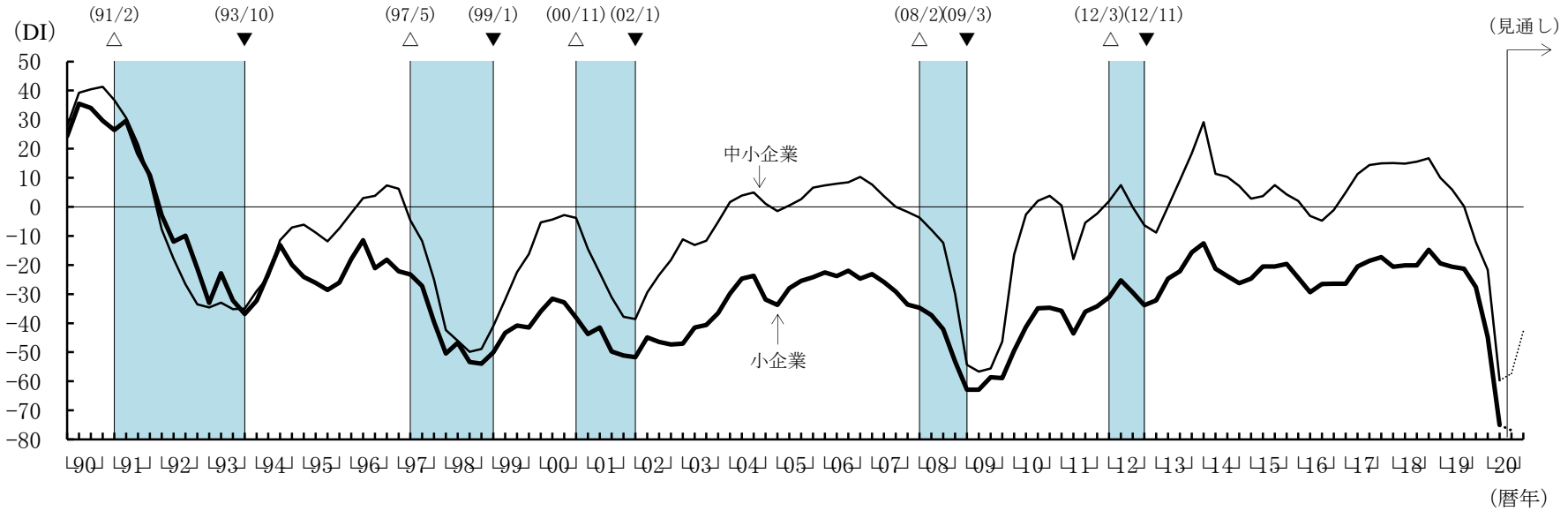


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

2 売上DIの推移

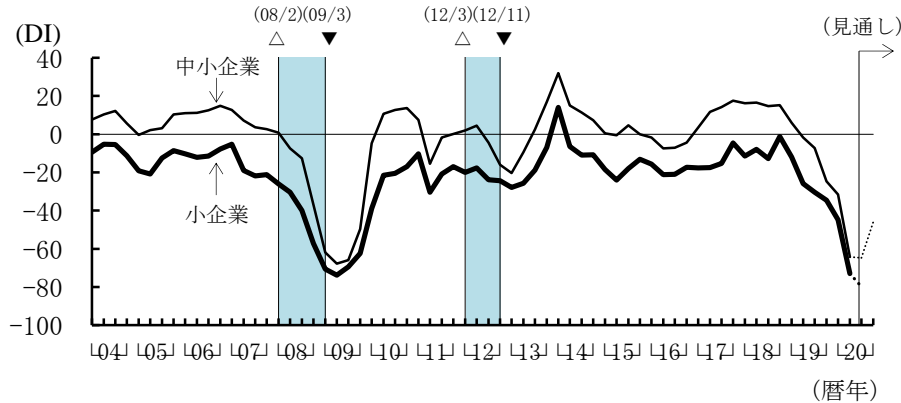
①全業種計

	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9 見通し	20.10-12 見通し
中小企業	14.9	15.6	16.7	10.0	5.9	0.2	▲ 12.1	▲ 21.7	▲ 59.7	▲ 57.3	▲ 42.8
小企業	▲ 20.1	▲ 20.1	▲ 14.8	▲ 19.4	▲ 20.6	▲ 21.3	▲ 27.6	▲ 44.8	▲ 75.1	▲ 76.9	-



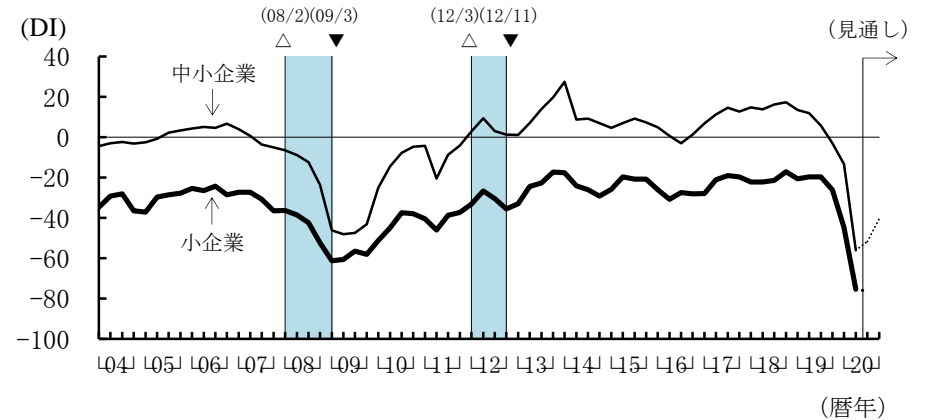
②製造業

	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9 見通し	20.10-12 見通し
中小企業	▲ 24.7	▲ 31.6	▲ 64.2	▲ 64.7	▲ 45.9
小企業	▲ 34.5	▲ 44.8	▲ 73.0	▲ 79.9	-



③非製造業

	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9 見通し	20.10-12 見通し
中小企業	▲ 3.1	▲ 13.4	▲ 56.1	▲ 51.8	▲ 40.5
小企業	▲ 26.3	▲ 44.8	▲ 75.4	▲ 76.4	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

小 企 業 編

(2020年4－6月期実績、7－9月期見通し)

小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により
急速に悪化し、極めて厳しい状況にある

[調査の実施要領]

調査時点 2020年6月中旬
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業
 有効回答数 6,793 企業 [回答率 67.9 %]

<業種構成>

	調査対象	有効回答数	
製造業	(従業員20人未満) 1,500 企業	1,043 企業	(構成比 15.4 %)
卸売業	(同 10人未満) 800 企業	622 企業	(同 9.2 %)
小売業	(同 10人未満) 2,450 企業	1,576 企業	(同 23.2 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満) 1,800 企業	1,078 企業	(同 15.9 %)
サービス業	(同 20人未満) 2,000 企業	1,403 企業	(同 20.7 %)
情報通信業	(同 20人未満) 160 企業	88 企業	(同 1.3 %)
建設業	(同 20人未満) 1,100 企業	817 企業	(同 12.0 %)
運輸業	(同 20人未満) 190 企業	166 企業	(同 2.4 %)

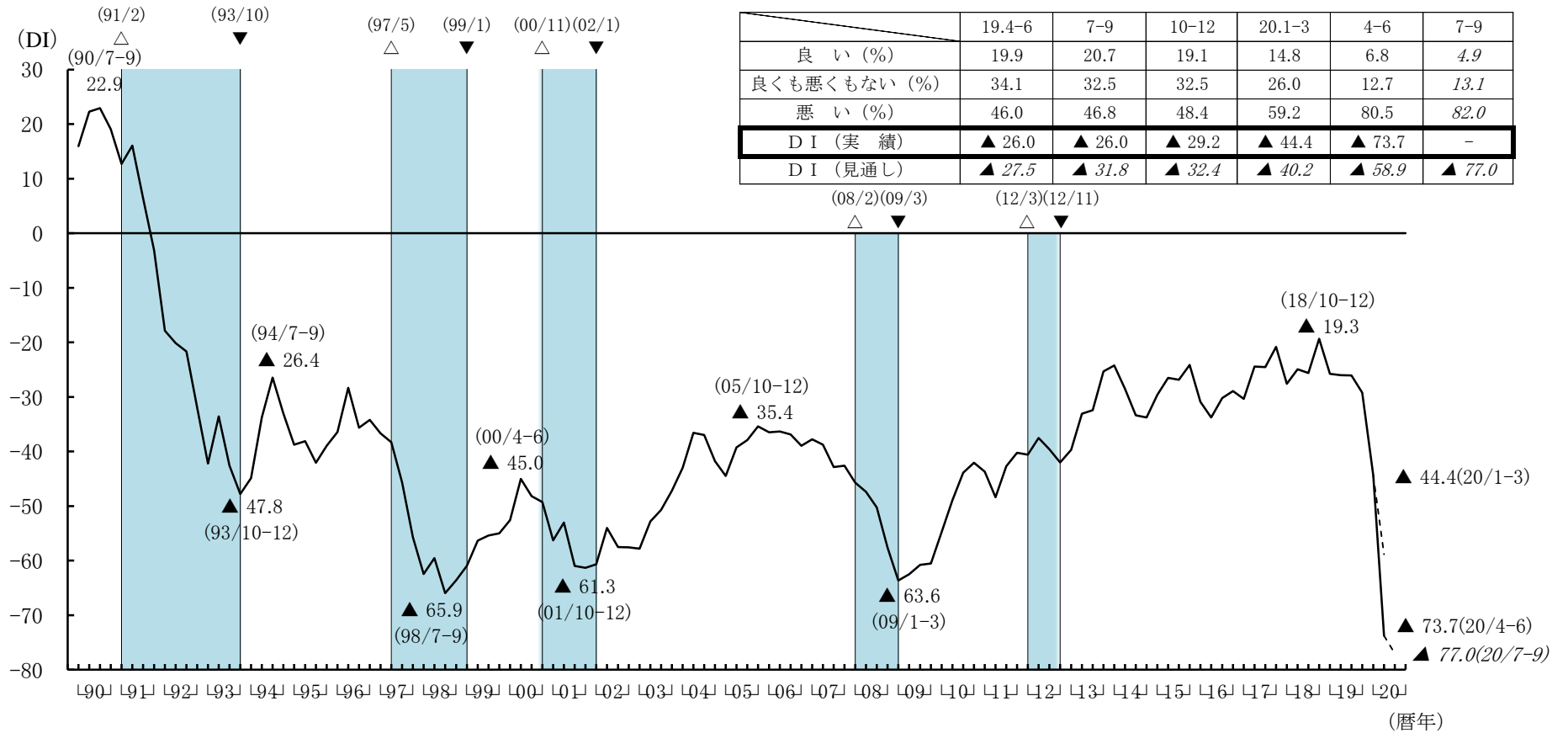
(参考)

法人	4,499 企業	(構成比 66.2 %)
個人	2,294 企業	(同 33.8 %)

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2020年1-3月期）からマイナス幅が29.3ポイント拡大し、▲73.7となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大し、▲77.0となる見通しである。

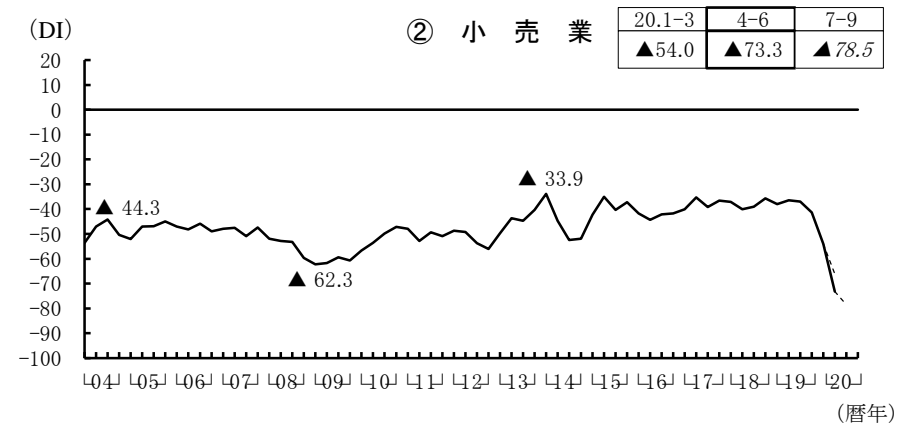
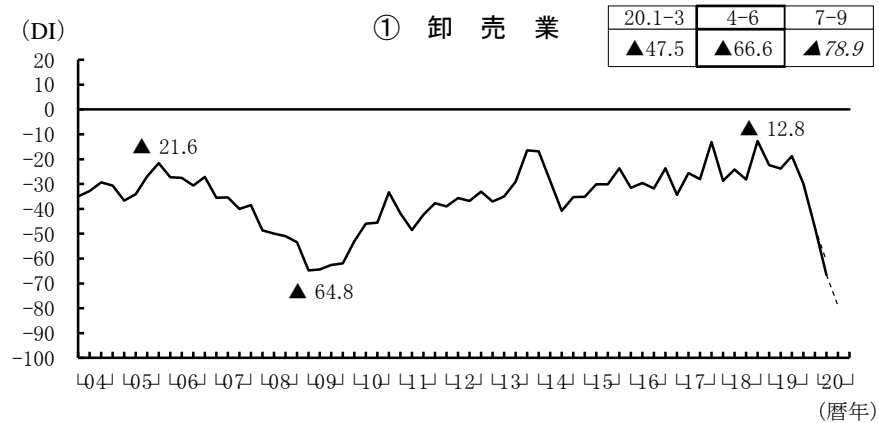
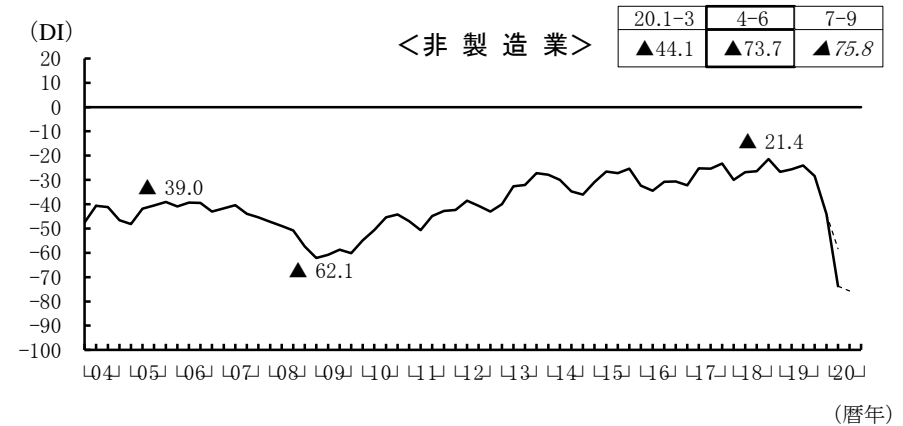
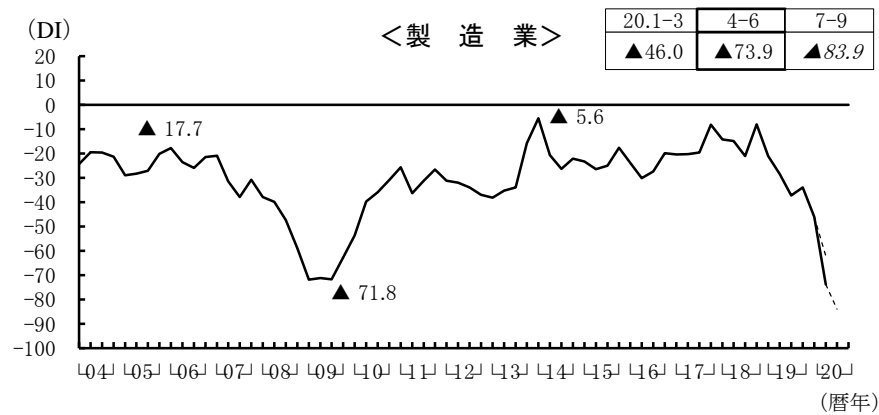
図-1 業況判断DIの推移（全業種計）

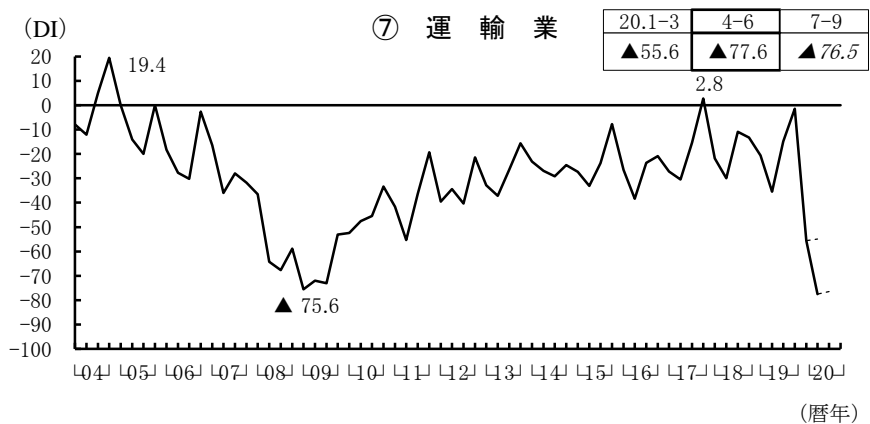
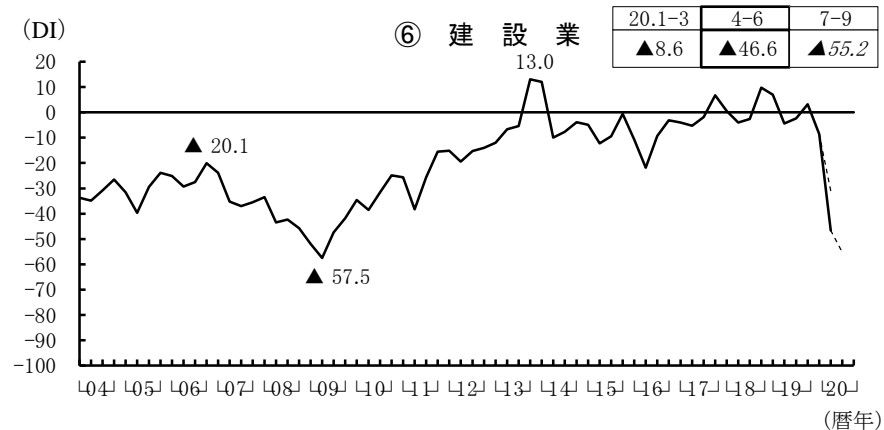
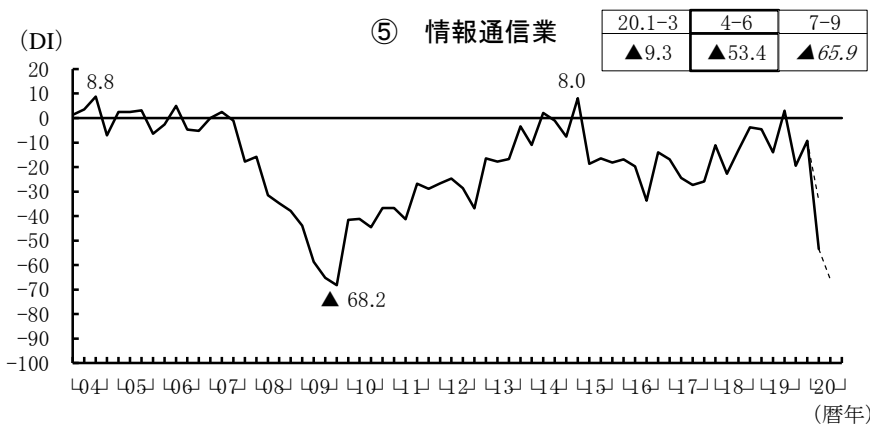
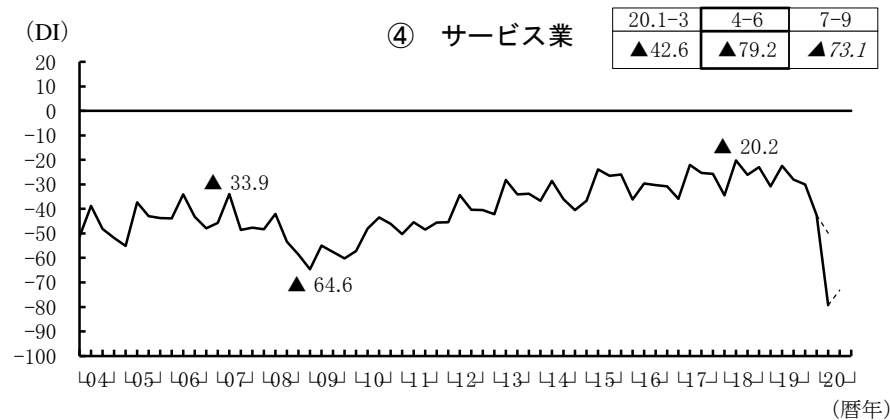
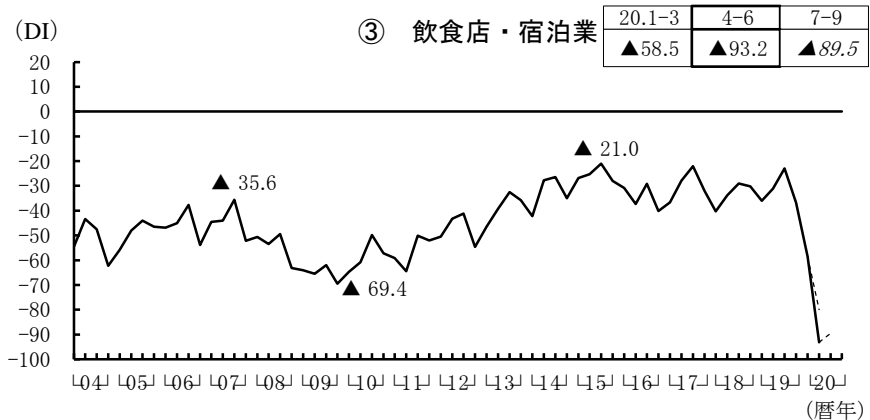


(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

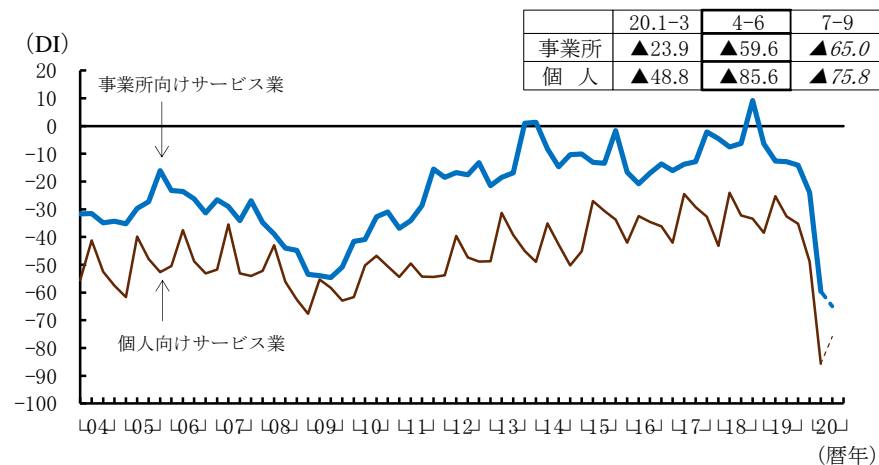
- 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲73.9）、非製造業（▲73.7）ともにマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類業種のうち、全ての業種でマイナス幅が拡大した。
- 来期も、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

図－２ 業種別業況判断DIの推移



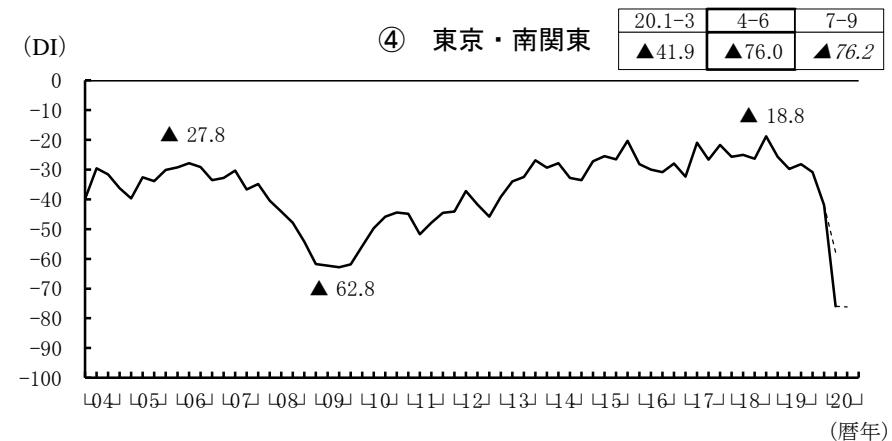
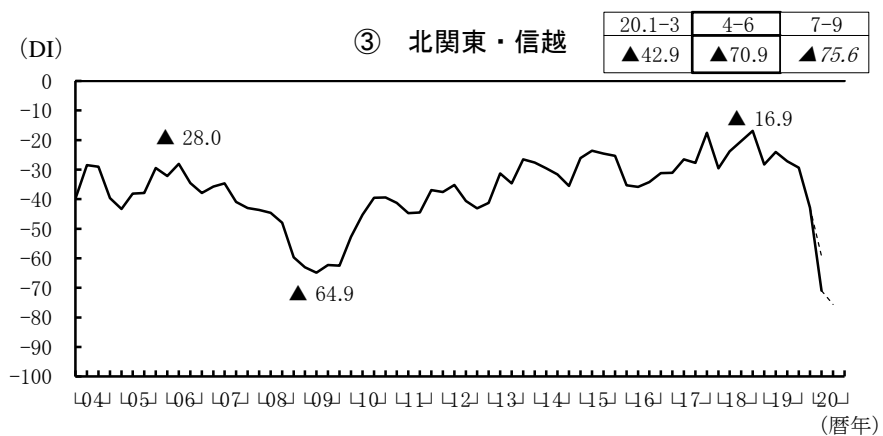
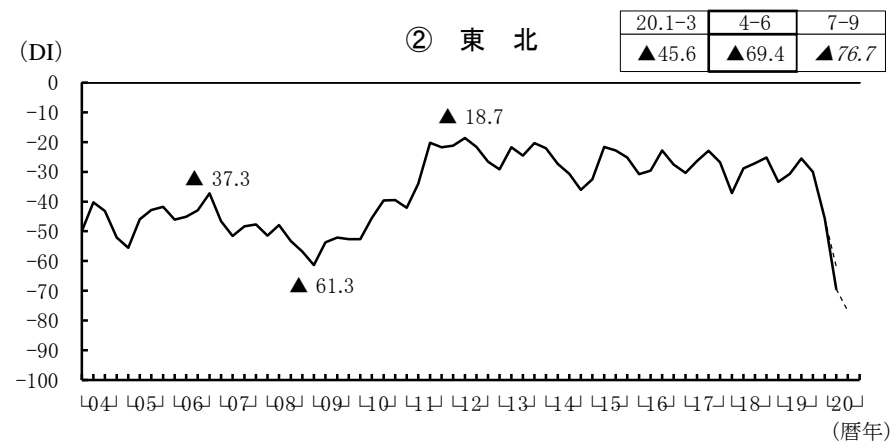
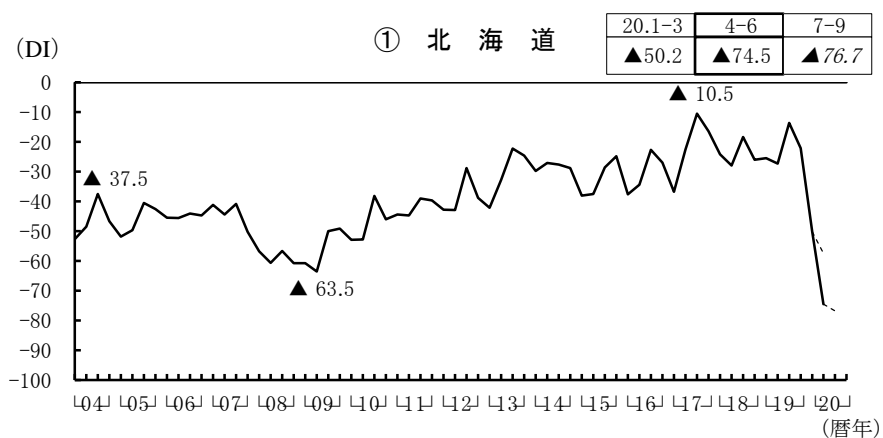


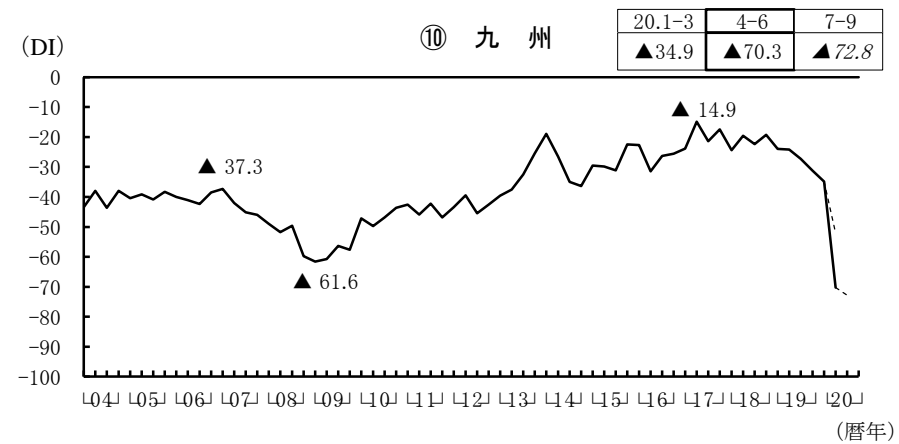
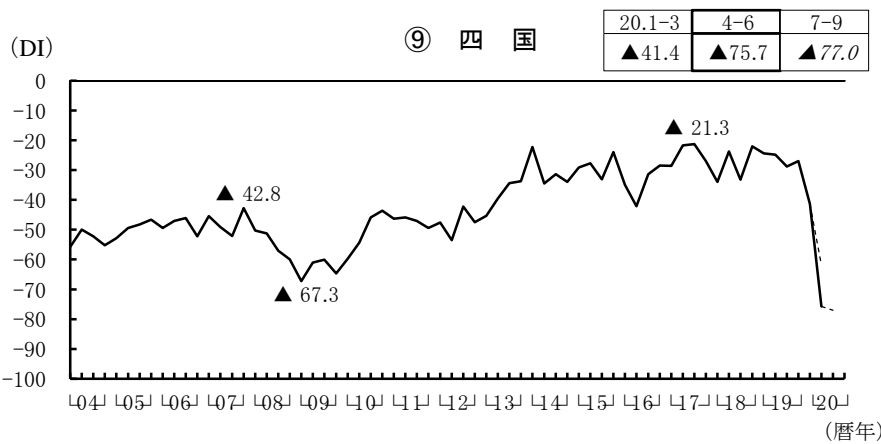
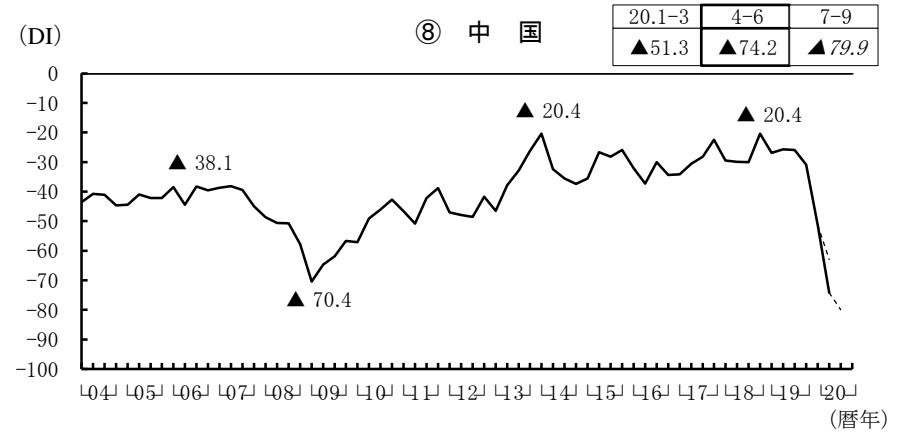
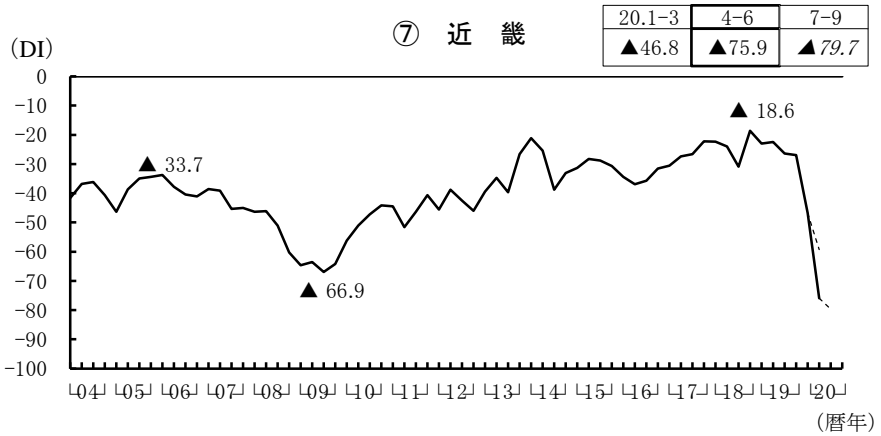
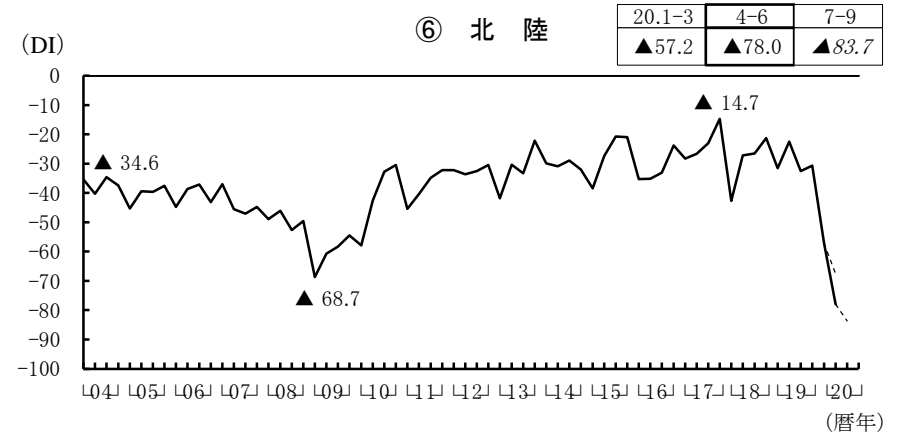
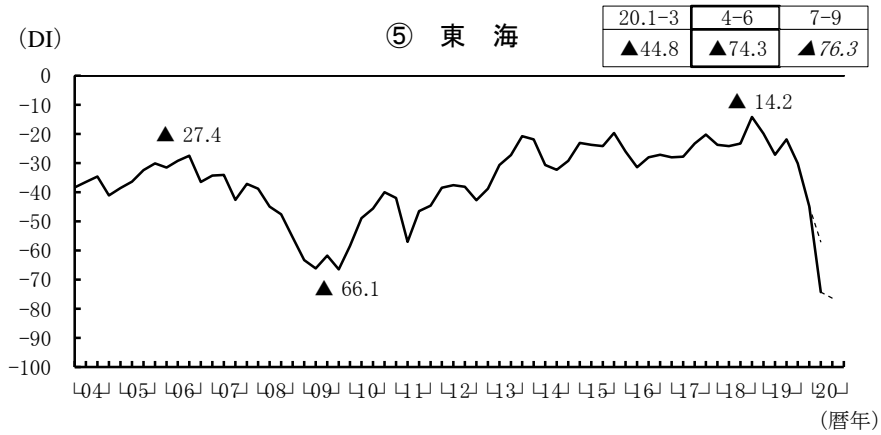
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、全ての地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期も、全ての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－３ 地域別業況判断DIの推移

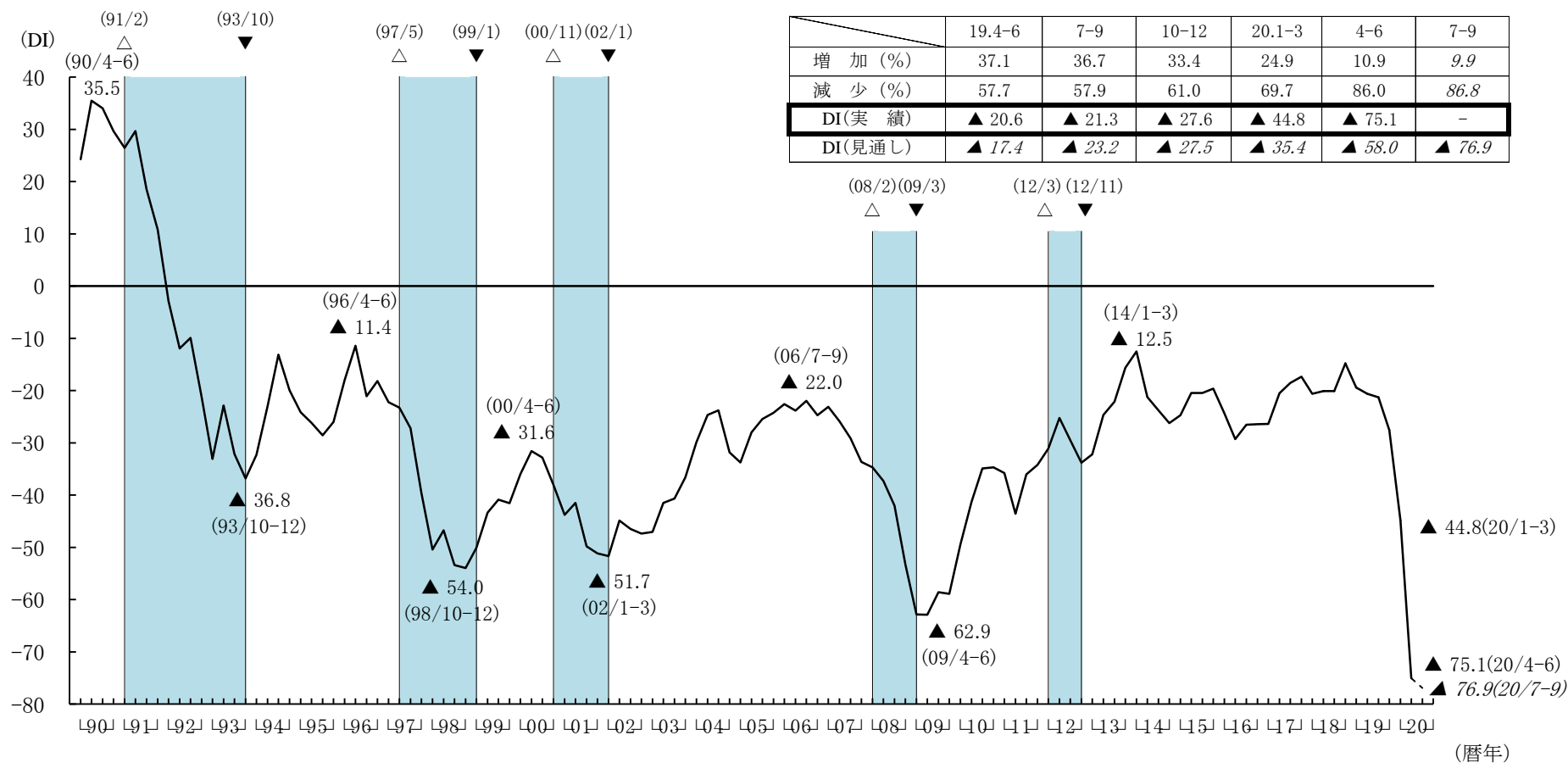




2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が30.3ポイント拡大し、▲75.1となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



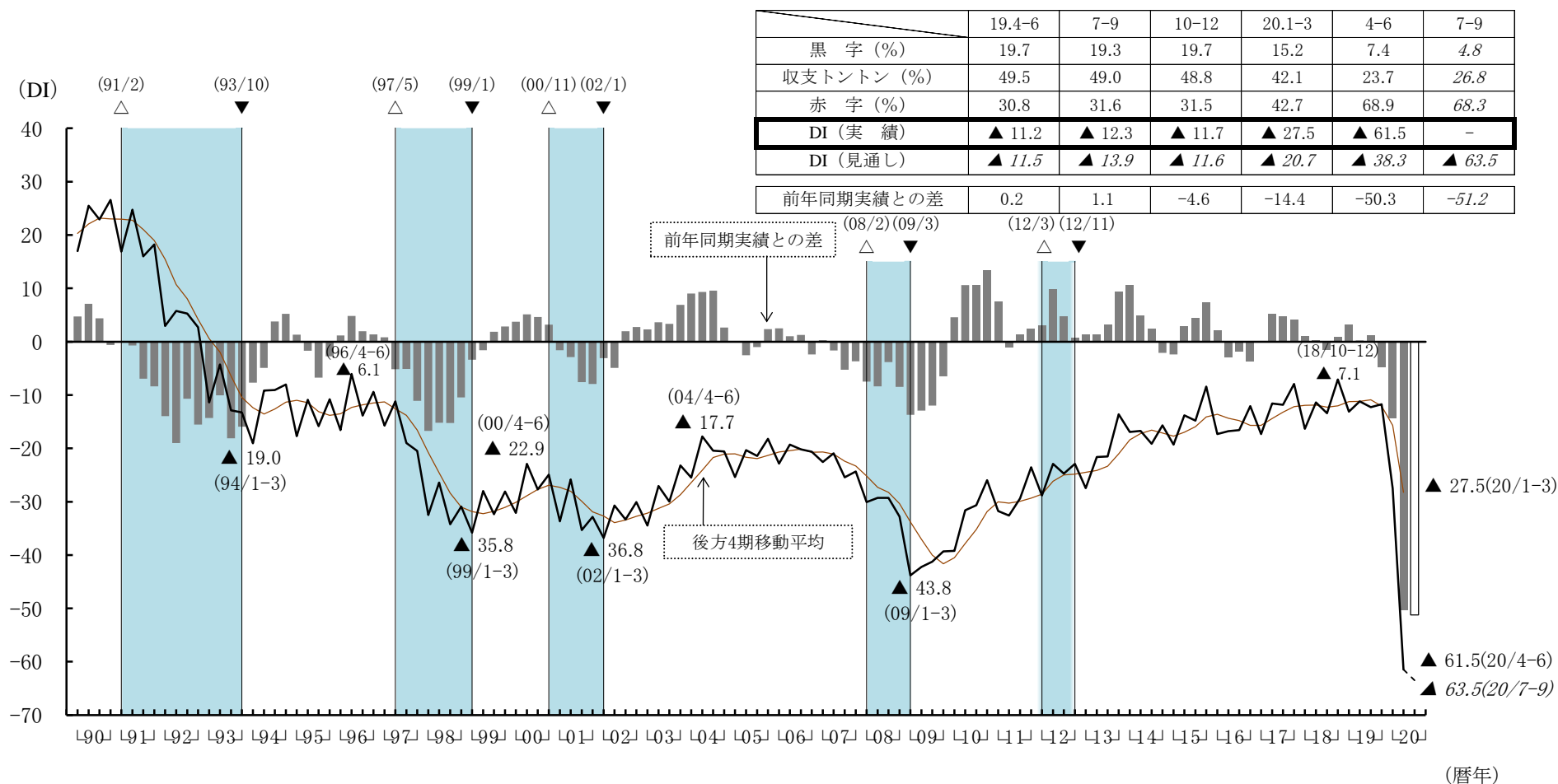
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が34.0ポイント拡大し、▲61.5となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

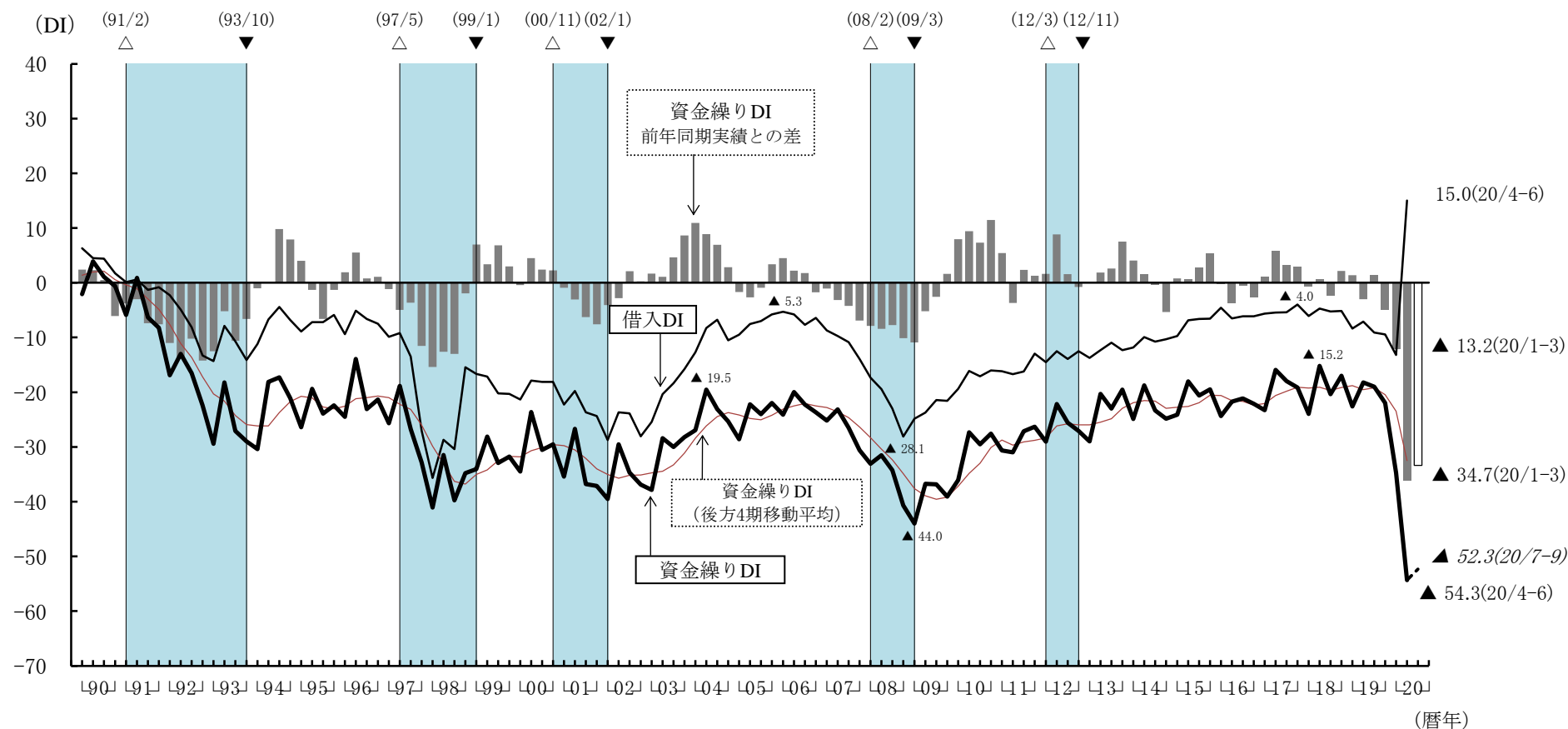
図－5 採算DIの推移（全業種計）



4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が19.6ポイント拡大し、▲54.3となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期から28.2ポイント上昇し、15.0となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

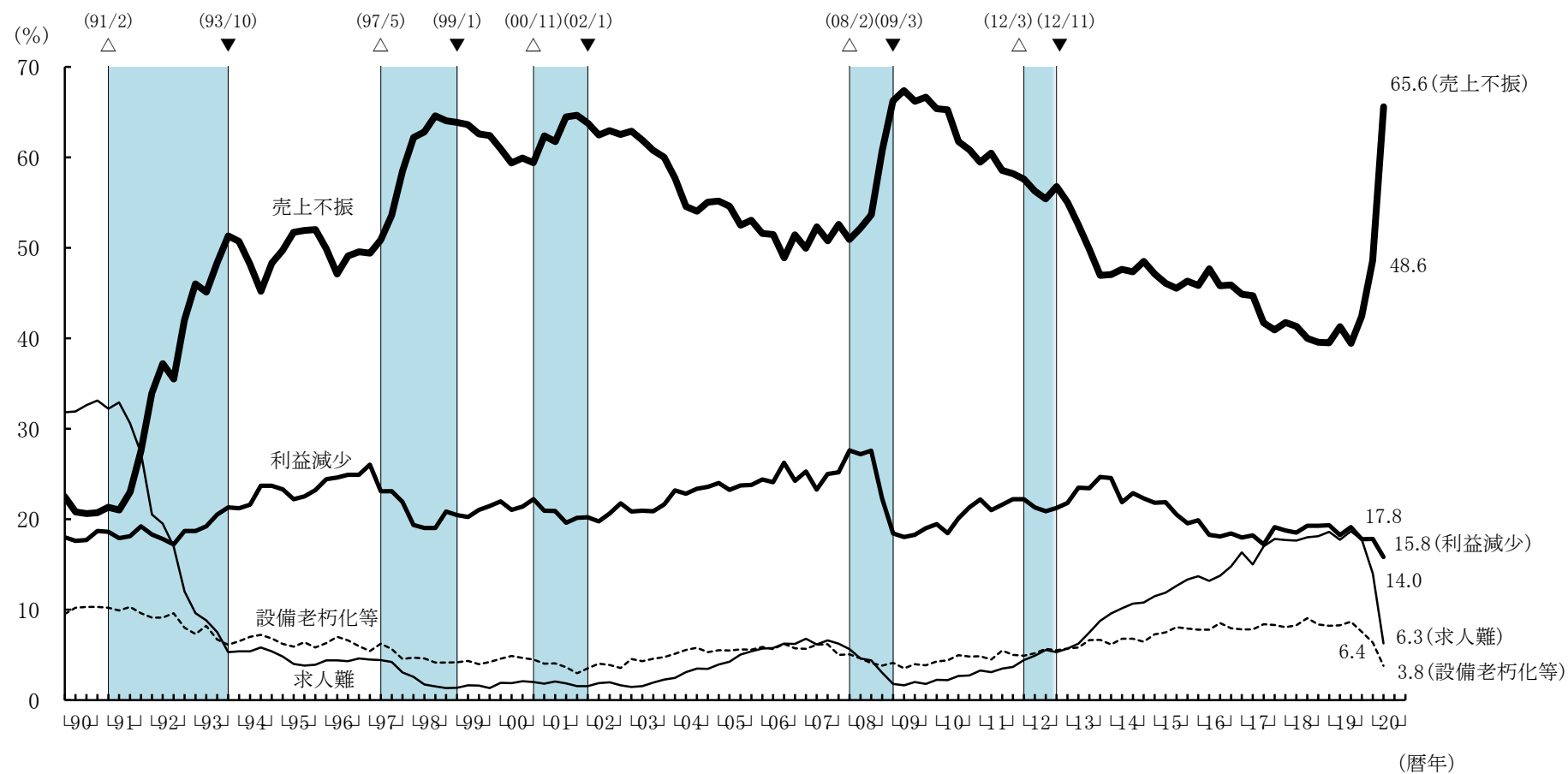


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が65.6%と最も多く、次いで、「利益減少」（15.8%）、「求人難」（6.3%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

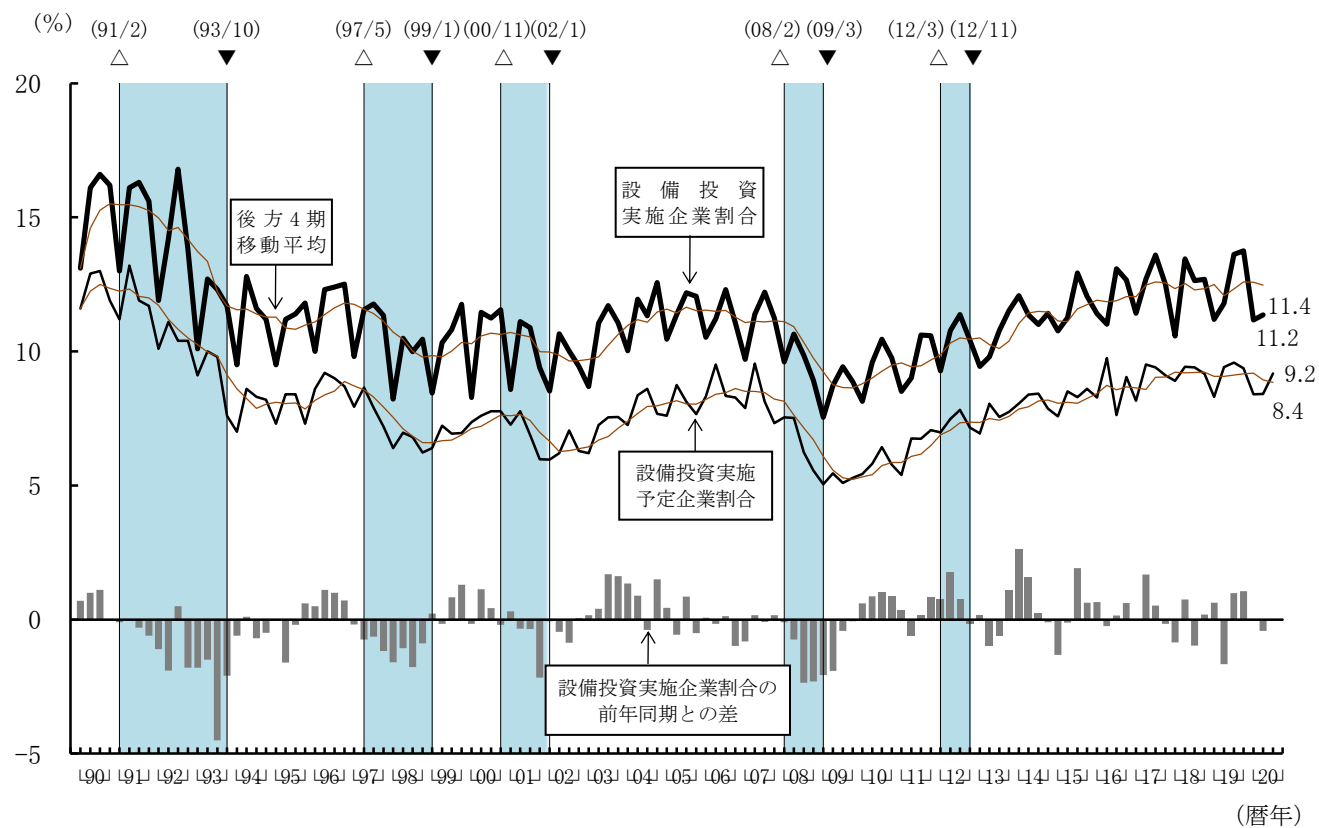


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

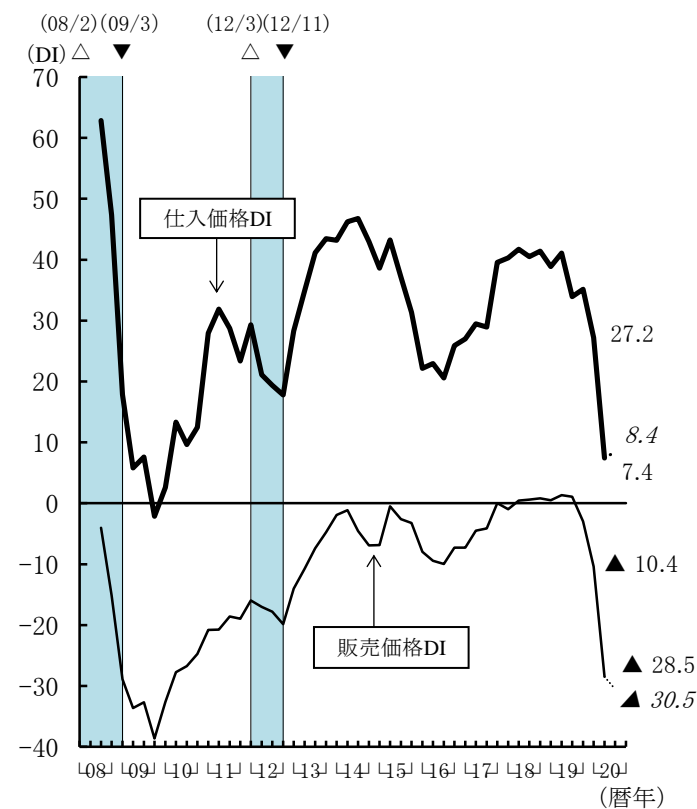
6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から0.2ポイント上昇し、11.4%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、マイナス幅が18.1ポイント拡大し、▲28.5となった。来期もマイナス幅が拡大する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、19.8ポイント低下し、7.4となった。来期は上昇する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）



図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 2008年7-9月期から調査を実施。

中 小 企 業 編

(2020年4－6月期実績、7－9月期および10－12月期見通し)

中小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により
急速に悪化し、極めて厳しい状況にある

[調査の実施要領]

調 査 時 点	2020年6月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上） 12,182社
有 効 回 答 数	6,060 社 [回答率 49.7 %]

<業 種 構 成>

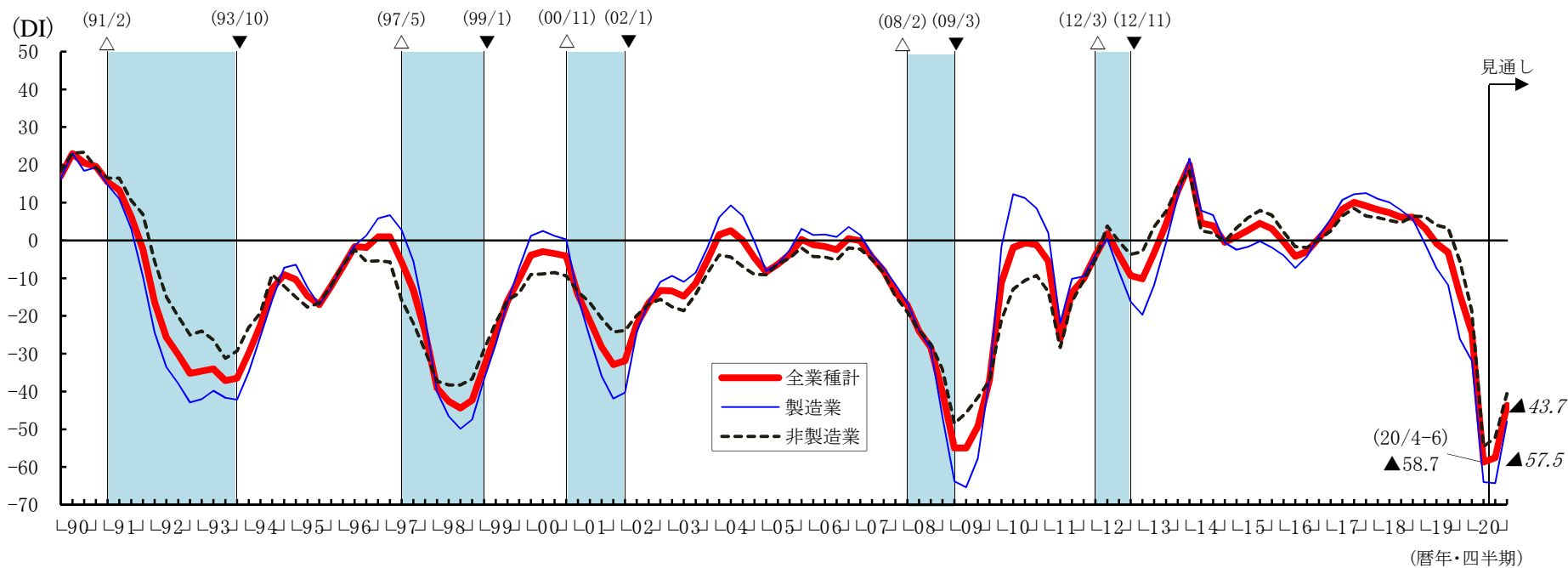
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	5,001 社	2,619 社	(構成比	43.2 %)
鉱 業	14 社	7 社	(同	0.1 %)
建 設 業	991 社	516 社	(同	8.5 %)
運送業(除水運)	748 社	375 社	(同	6.2 %)
水 運 業	172 社	87 社	(同	1.4 %)
倉 庫 業	66 社	40 社	(同	0.7 %)
情 報 通 信 業	263 社	108 社	(同	1.8 %)
ガ ス 供 給 業	12 社	8 社	(同	0.1 %)
不 動 産 業	762 社	333 社	(同	5.5 %)
宿泊・飲食サービス業	460 社	195 社	(同	3.2 %)
卸 売 業	1,597 社	808 社	(同	13.3 %)
小 売 業	882 社	400 社	(同	6.6 %)
サ ー ビ ス 業	1,214 社	564 社	(同	9.3 %)

1 業況判断

- 今期（2020年4－6月期）の業況判断DIは、前期（2020年1－3月期）からマイナス幅が34.3ポイント拡大し、▲58.7となった。
- 来期（2020年7－9月期）は▲57.5とマイナス幅が縮小し、来々期（2020年10－12月期）は▲43.7となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6 (前回見通し)	2020/7-9 (前回見通し)	2020/10-12
業況判断DI (季節調整値)	▲ 0.8	▲ 3.2	▲ 14.4	▲ 24.4	▲ 58.7 (▲ 31.8)	▲ 57.5 (▲ 22.0)	▲ 43.7
製 造 業	▲ 7.4	▲ 11.8	▲ 26.1	▲ 31.9	▲ 64.0 (▲ 38.9)	▲ 64.3 (▲ 26.4)	▲ 47.9
非 製 造 業	4.0	3.2	▲ 5.5	▲ 18.7	▲ 54.6 (▲ 26.1)	▲ 52.2 (▲ 18.5)	▲ 40.6



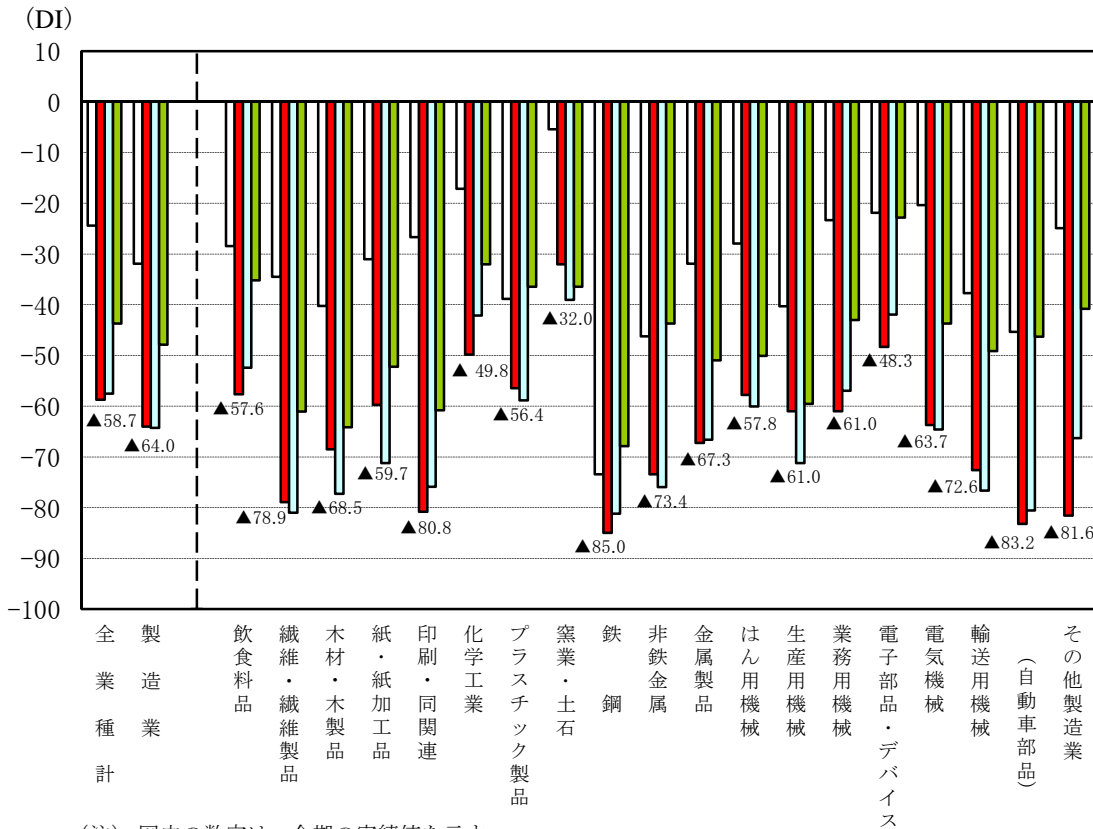
- (注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。
 3 今期調査において季節調整値の改定を実施した（以下同じ）。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、全業種において低下した。
- 非製造業も、全業種において低下した。

図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

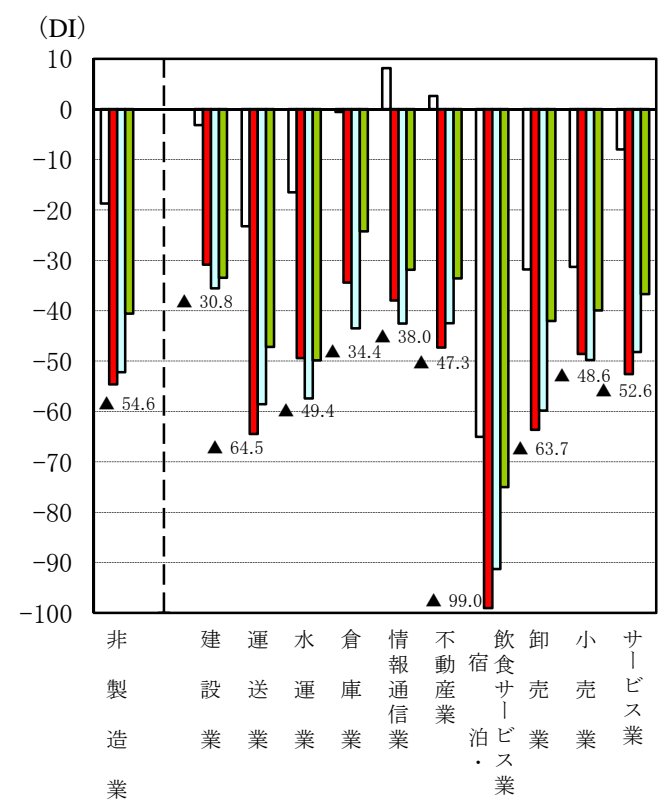


－製造業－



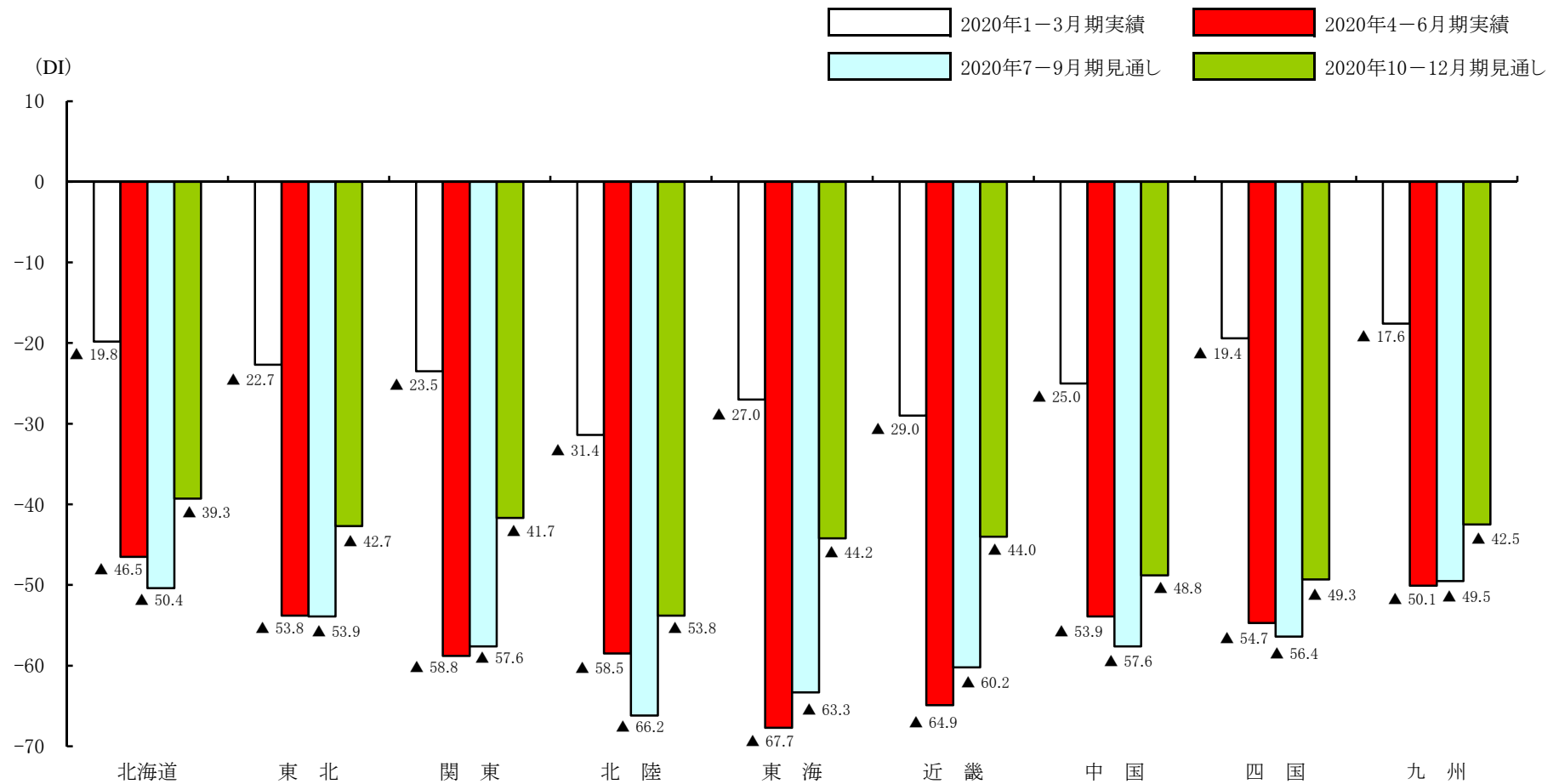
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－



- 業況判断DIを地域別にみると、今期はすべての地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期は、関東、東海、近畿、九州の4地域でマイナス幅が縮小する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

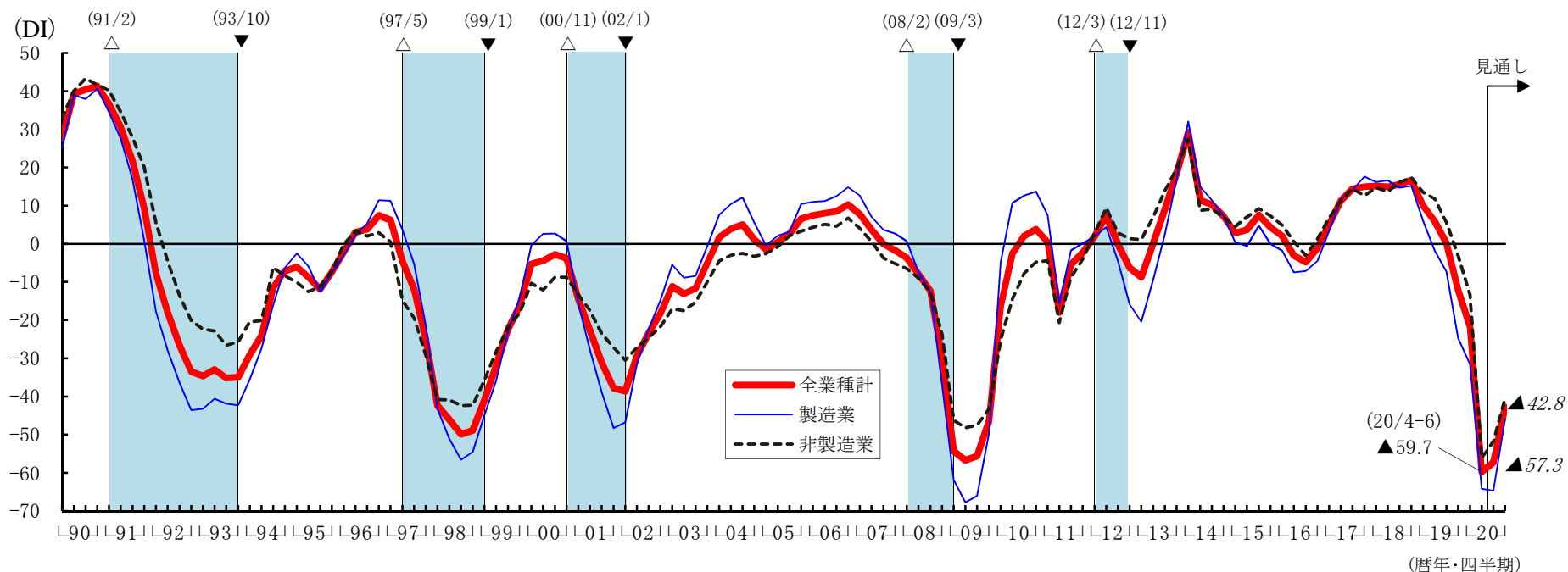


2 売 上

- 今期の売上DIは、前期からマイナス幅が38.0ポイント拡大し、▲59.7となった。
- 来期は▲57.3とマイナス幅が縮小し、来々期は▲42.8となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6 (前回見通し)	2020/7-9 (前回見通し)	2020/10-12
売上DI (季節調整値)	5.9	0.2	▲12.1	▲21.7	▲59.7 (▲26.8)	▲57.3 (▲16.0)	▲42.8
製 造 業	▲1.8	▲7.3	▲24.7	▲31.6	▲64.2 (▲35.1)	▲64.7 (▲20.6)	▲45.9
非 製 造 業	11.8	5.6	▲3.1	▲13.4	▲56.1 (▲20.5)	▲51.8 (▲12.5)	▲40.5



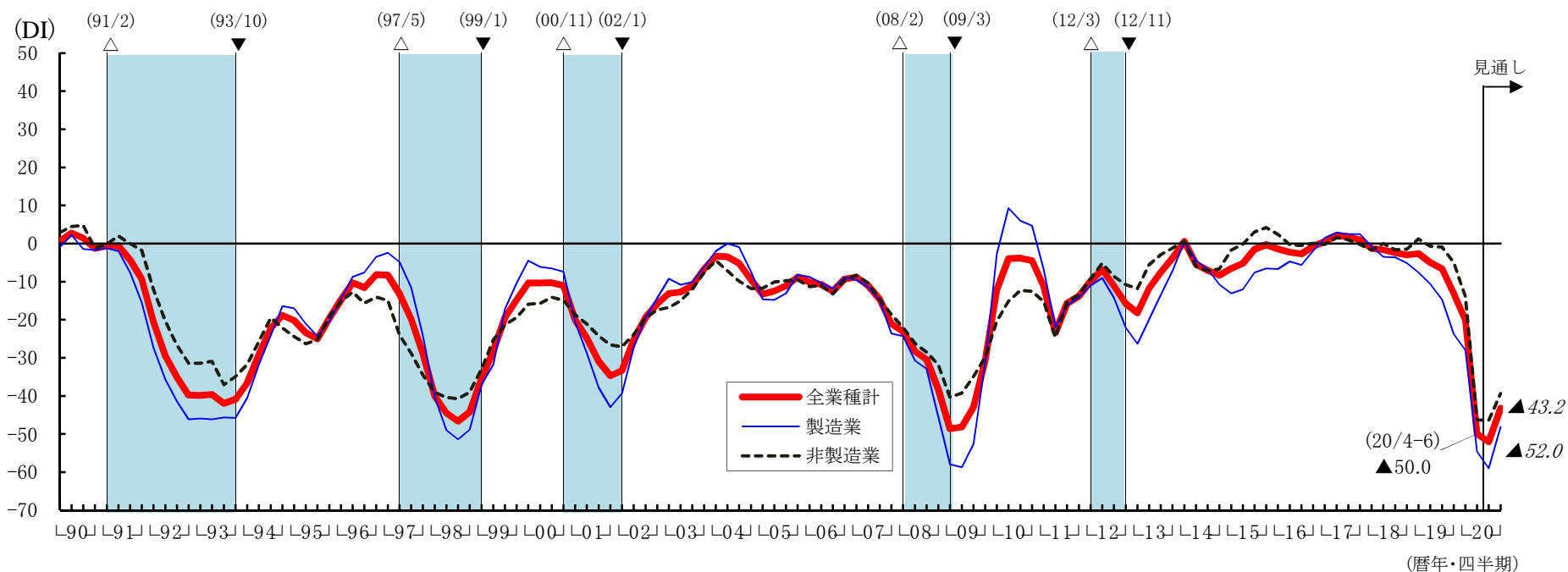
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が29.9ポイント拡大し、▲50.0となった。
- 来期は▲52.0とマイナス幅が拡大し、来々期は▲43.2となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6 (前回見通し)	2020/7-9 (前回見通し)	2020/10-12
純益率DI (季節調整値)	▲ 5.0	▲ 6.6	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 50.0 (▲ 25.1)	▲ 52.0 (▲ 18.8)	▲ 43.2
製 造 業	▲ 10.6	▲ 14.7	▲ 23.7	▲ 28.0	▲ 54.6 (▲ 31.3)	▲ 59.0 (▲ 24.1)	▲ 48.1
非 製 造 業	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 5.0	▲ 13.9	▲ 46.3 (▲ 20.1)	▲ 46.4 (▲ 14.7)	▲ 39.4



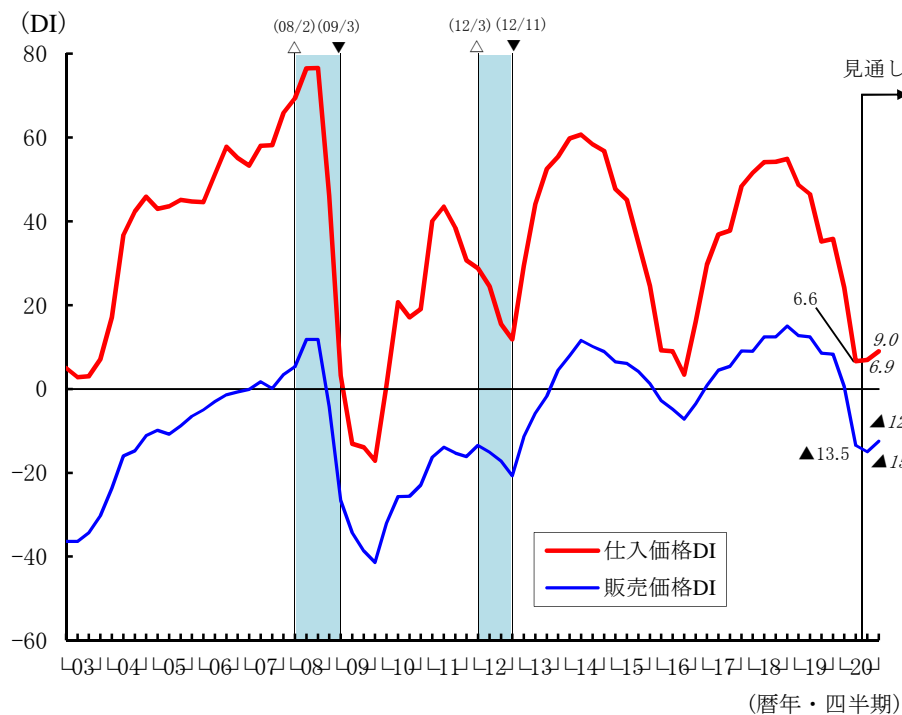
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から14.1ポイント低下し、▲13.5となった。仕入価格DIは前期から17.6ポイント低下し、6.6となった。来期は販売価格DIは低下し、仕入価格DIは上昇の見通しである。
- 今期の資金繰りDIは低下、長期借入難易DIは上昇、短期借入難易DIは横ばいとなった。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

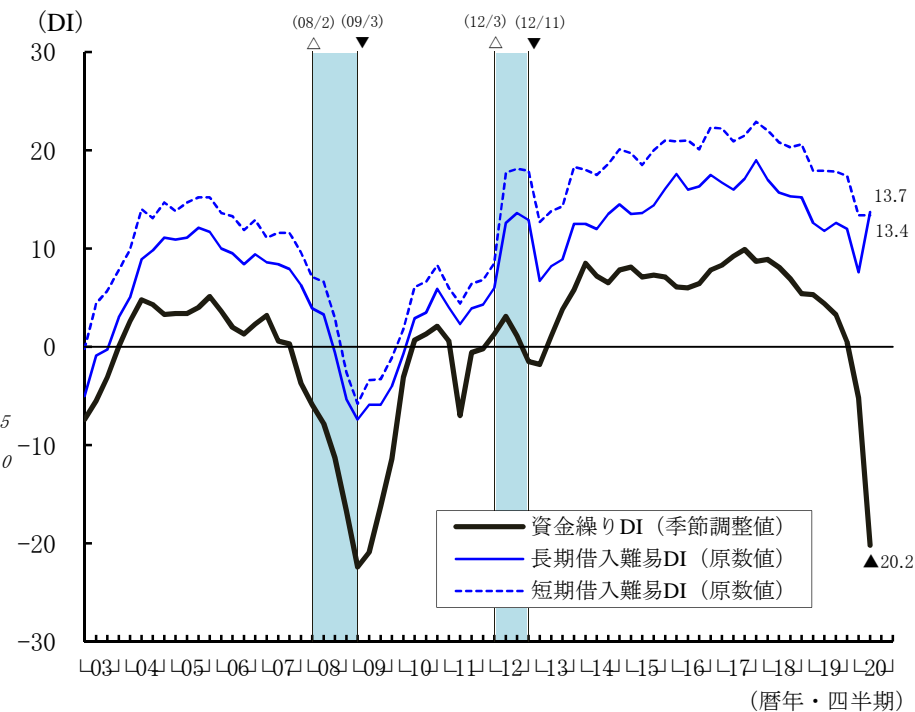
	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6	2020/7-9	2020/10-12
販売価格DI	12.4	8.5	8.3	0.6	▲13.5	▲15.0	▲12.5
仕入価格DI	46.5	35.2	35.8	24.2	6.6	6.9	9.0



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6
資金繰りDI（季節調整値）	4.4	3.3	0.5	▲5.2	▲20.2
長期借入難易DI（原数値）	11.8	12.6	12.0	7.6	13.7
短期借入難易DI（原数値）	17.9	17.8	17.4	13.4	13.4



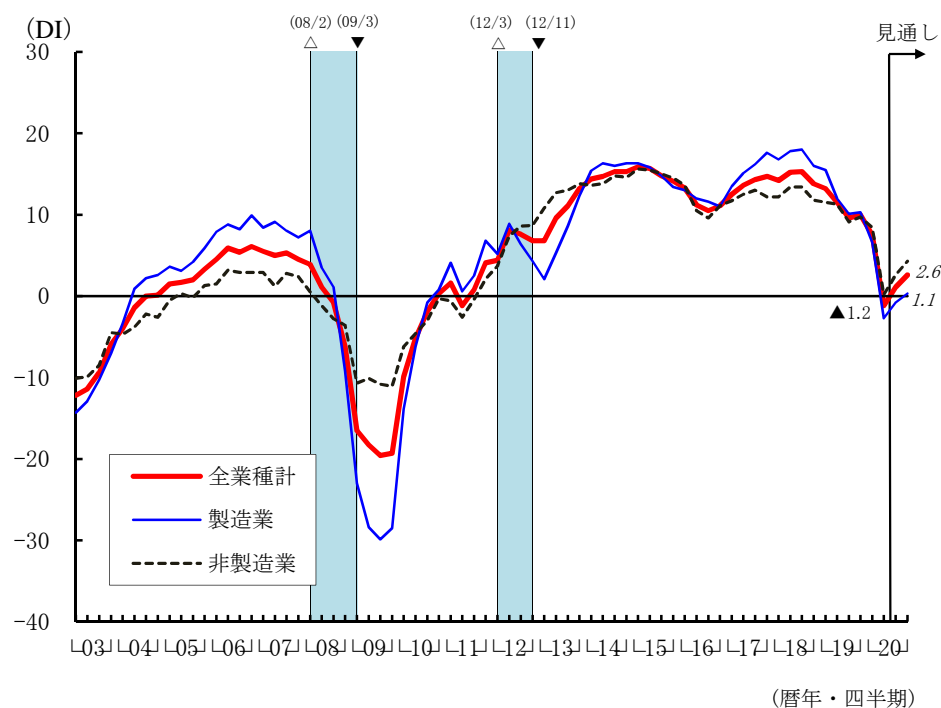
- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から8.7ポイント低下し、▲1.2となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から5.4ポイント低下し、30.2%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

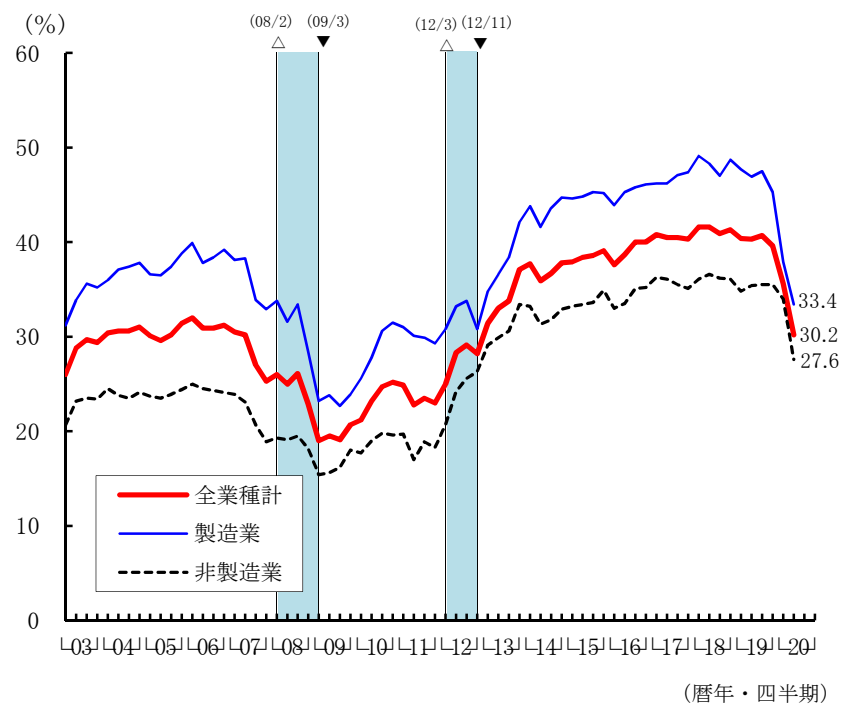
	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6	2020/7-9	2020/10-12
全業種計	11.5	9.6	10.0	7.5	▲1.2	1.1	2.6
製造業	12.0	10.1	10.3	6.6	▲2.7	▲0.8	0.3
非製造業	11.3	9.1	9.7	8.4	0.2	2.6	4.3



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6
全業種計	40.3	40.7	39.6	35.6	30.2
製造業	46.9	47.5	45.3	37.9	33.4
非製造業	35.4	35.5	35.5	34.0	27.6



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が68.9%と最も多く、次いで、「求人難」（10.8%）、「人件費や支払利息等の増加」（2.7%）となっている。
- 前回調査と比べると、「売上・受注の停滞、減少」は22.1ポイント上昇し、「求人難」は12.3ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

